

経済学類における北陸銀行との連携講義概要

科目名

経済学特別講義 A テーマ「地域産業と金融」

開講義時期

平成 26 年度前期

履修学生

経済学類 2、3 年生を主たる対象とする。(他学類学生の履修は可能)

講義概要

現在における経済の大きな流れを踏まえ、本学経済学類教員と北陸銀行のスタッフの連携により理論と実務の両面から地域の産業と金融の役割について講義し、わかりやすく分析と解説を加えます。さらに、具体的事例を用いて背景となっている理念や考え方について学びます。

学習目標

金融という視点を通じて、現代の地域社会や地域経済を巡る状況を的確に深く理解し、課題解決や提言を行う能力を身につけることを目標とします。社会人となってからも役に立つ知識を身につけ、分析能力を養います。

具体的なテーマと講義内容（一部内容変更や順番を入れ替える可能性があります）

- 第 1 回 ガイダンス：講義内容の構成と金融制度の役割について
- 第 2 回 「証券市場の仕組みと証券業務」 資本市場としての証券市場の役割と業務
- 第 3 回 「最近の国際金融市場」 グローバル化の中における金融市場の変化
- 第 4 回 「企業の海外進出」 ケーススタディによる海外進出プロセスの課題分析
- 第 5 回 「リレーションシップ・バンキング」 リレーションシップ・バンキングの概念と市場性、必要性
- 第 6 回 「リスク管理」 リスク概念と企業における総合的なリスク管理
- 第 7 回 「企業と地域産業」 個別企業経営と地域産業集積との関連
- 第 8 回 「ファイナンシャルプランニング」 プライベートバンキングとファイナンシャルプランナーの役割
- 第 9 回 「グローバル化する地域経済」 グローバル化の流れと地域経済への影響
- 第 10 回 「クレジット・カード」 カード決済の仕組みとカード業界の状況
- 第 11 回 「年金と銀行」 企業年金と銀行の関わり
- 第 12 回 「新しい金融」 金融の新たな動き（環境融資、社会貢献評価など）
- 第 13 回 「リース」 リースの仕組みとリース業界の現状

第 14 回 「ケーススタディ 1」 実際のケースを用いた経営的意思決定の学習と分析

第 15 回 「ケーススタディ 2」 実際のケースを用いた経営的意思決定の学習と分析

連携講義のイメージ図

